

全建発第8-012号
令和8年4月10日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

令和8年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）の開催について

謹啓 本協会事業について、平素よりご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本協会では、標記実地研修会を別紙のとおり開催いたします。

本実地研修会では、震災伝承施設等の視察を通じて、大災害からの復旧・復興に対して各事業が果たす役割、防災・減災に向けた教訓や貴重な体験について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

全建発第8-013号
令和8年4月10日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和
(公印省略)

令和8年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は、国土交通省・農林水産省をはじめ、都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約5.5万名で構成されています。

建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上、連携・交流の促進を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び、良質な社会資本の整備・保全を通じて、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会では、建設技術講習会（年10開催）と実地研修会（年5コース）を実施しており、建設技術講習会では、道路、河川等各部門の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新等、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げております。また、実地研修会では、明石海峡大橋、東日本大震災の復興と現状など、一般に視察が困難な現場等を少数で視察することとしています。

本協会が実施するこれらの講習会・研修会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

本実地研修会では、震災伝承施設等の視察を通じて、大災害からの復旧・復興に対して各事業が果たす役割、防災・減災に向けた教訓や貴重な体験について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を研修の場として活用されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

令和8年度 実地研修会 東日本大震災の復興と現状 概要

(1日目) 開場14:20	令和8年6月17日(水) 【聴講】	(敬称略)
14:50 } 国営追悼・祈念施設整備事業について 15:30	国土交通省東北地方整備局 東北国営公園事務所長	岩 崎 健
15:40 } 震災対応の伝承と 16:20 (一財)3.11伝承ロード推進機構について	(一財)3.11伝承ロード推進機構 業務執行理事	原 田 吉 信
17:00 } 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円> 18:30	会場：Jヴィレッジ内	
(2日目) 集合(乗車) 8:50~	6月18日(木) 【現場研修】	
<p>Jヴィレッジ(9:10) 出発</p> <p>→ 東京電力廃炉資料館 → 東京電力・福島第一原子力発電所 → 昼食〔浪江町内〕</p> <p>→ 震災遺構 浪江町立請戸小学校 → 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設</p> <p>→ JR福島駅(17:20) 着後解散</p> <p>※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。</p>		

全建CPD制度(建設系CPD協議会加盟)：聴講1.25単位 / 現場研修1.5単位

聴講会場：Jヴィレッジ(コンベンションホール)

〒979-0513 福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森8 TEL:0240-26-0111

※食事はJヴィレッジ施設内の店舗をご利用ください(周辺に飲食店はありません)。

現場研修事業の概要

1. 東京電力・福島第一原子力発電所

…………… 福島県双葉郡大熊町・双葉町

福島第一原子力発電所事故は、2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴う巨大津波により、発電所の電源と冷却機能が失われて起きた原子力事故である。津波により非常用電源設備等が浸水し、全交流電源喪失に至ったことで原子炉の冷却機能が失われた結果、1号機から3号機で炉心溶融（メルトダウン）が発生した。さらに水素爆発により原子炉建屋が大きく損傷し、放射性物質が大気中や海洋へ放出された。



現在の福島第一原子力発電所 1号機

この事故により周辺地域では大規模な避難が実施され、農業や漁業、地域社会にも大きな影響を与えた。現在も廃炉作業や環境回復が続けられており、完了までには数十年を要するとされている。

視察では、1号機から4号機の原子炉建屋を遠望できる高台や見学デッキなどに立ち寄り、建屋の状態や燃料取り出し設備の説明を受ける。特に、爆発により損傷した建屋がどのように補強され、どのような手順で廃炉作業が進められているのかが解説される。

また、汚染水対策として設置された大型の貯蔵タンク群や、多核種除去設備（ALPS）と呼ばれる処理装置についても説明が行われる。これらは原子炉建屋に流入する地下水や冷却水によって発生した汚染水を処理するための設備であり、処理水の管理方法や海洋放出の実施状況やその仕組みなども視察の重要なテーマになっている。さらに、地下水の流入を抑えるための凍土壁や遠隔ロボットによる建屋内部調査など、廃炉作業に用いられている技術についても紹介される。

2. 震災遺構 浪江町立請戸小学校

…………… 福島県双葉郡浪江町

浪江町立請戸小学校は、浪江町の請戸漁港の近くに位置する福島県内を代表する震災遺構の一つ。震災当時、在校していた児童と教職員は迅速な避難により全員が無事であり、「奇跡の学校」とも呼ばれている。しかし校舎には地震や津波による被害の痕跡が残されており、当時の状況を実際に見て学ぶことができる施設となっている。

特に被害の大きかった校舎1階部分は震災当時の状態のまま保存されており、津波による破壊の様子を確認することができる。また、津波が到達した校舎2階では、津波被害後の請戸地区の状況や被災体験談、請戸小学校に関する資料などが展示されており、震災の記憶と教訓を伝える場となっている。



3. 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設整備事業 …………… 福島県双葉郡双葉町・浪江町

福島県復興祈念公園は、国と福島県が連携して福島県双葉郡双葉町、浪江町の両町にまたがるエリアに整備された、約46.4haの大規模公園である。東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂をはじめ、震災の記憶と教訓の後世へ伝承するとともに、国内外に向けた復興に対する強い意志を発信すること等を目的として整備された。

震災以降、福島第一原子力発電所事故による避難が継続している中、地域との連携により、津波や原子力災害等震災の記憶と教訓を後世に伝承するとともに、ふるさとを離れた地域の人々をつなぐ心の拠り所となることを目的とした施設である。

国営追悼・祈念施設は、公園区域内外に広がる震災遺構や、再生・復興していく双葉町と浪江町、海や復興の象徴となる花の広がり等、全方位を一望できる丘を中心とした空間を整備。令和3年1月4日に一部利用が開始され、令和8年4月25日に全面開園を予定している。



【3.11伝承ロード】の取組について

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、東日本の太平洋沿岸約500kmにも及ぶ広い範囲で甚大な被害が発生した。被災地ではそのような被害の実情や貴重な教訓を伝えていくための施設が多く整備されている。一方、それらの震災伝承施設は、複数の県にまたがる広大なエリアに数多く点在し、これらの情報を集め、限られた時間で巡ることは容易ではない。そのため、目的や時間に応じて効率的に施設を訪問できるよう、伝承施設の情報を整理・分類して提供し、案内マップや標識を設置しネットワーク化することとしている。

このように、「3.11伝承ロード」は、震災伝承施設をネットワーク化する取組であり、「震災伝承のプラットフォーム」として地域の防災力の向上と被災地の地域振興を目指すものである。

令和8年度 実地研修会 東日本大震災の復興と現状 募集について

1. 日程：

【聴講】令和8年6月17日（水）（開場14:20～）14:50～16:20

J ヴィレッジ（コンベンションホール）

〒979-0513 福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森8

TEL:0240-26-0111（別紙「聴講会場及び現場研修集合場所案内図」参照）

【現場研修】令和8年6月18日（木）9:10～17:20

J ヴィレッジ（集合8:50～・出発9:10）

→ 東京電力廃炉資料館 → 東京電力・福島第一原子力発電所

→ 昼食〔浪江町内〕 → 震災遺構 浪江町立請戸小学校

→ 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設

→ JR福島駅（17:20）着後解散

2. 募集人数：38名（大型バス1台）

3. 研修料：

一般（非会員）……………37,800円（税込）

正会員・特別会員・賛助会員……………34,800円（〃）

・一般／会員の確認を行いますので、申込み区分に誤りのないようご注意ください。

・研修料は、1～2日目の費用です。

・1日目（6月17日）の宿泊代（14,700円（夕食なし・朝食付・税込））を含みます。

主催者が手配した施設（J ヴィレッジ）へのご宿泊がご参加条件となります。

・※2日目の昼食の費用は含まれておりません（各自負担・自由昼食となります）。

4. 申込み方法：

申込書に必要事項を記入し、メールにて東武トップツアーズ㈱へお申込みください。

・募集定員を超えた場合、（一社）全日本建設技術協会にて選考し結果を通知します。

・選考の通知は、5月12日頃を予定しています。

・福島第一原子力発電所の視察にあたり、厳格な本人確認及び持込制限等があります。

後日追加送付する別紙参加条件に同意の上、お申し込みください。

・参加者は本人確認書類（免許証コピー等）を5月15日（金）までに東武トップツアーズ㈱にご提出ください。なお、参加者を登録した後に参加者変更は原則できません。

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

5. 申込み締切：令和8年5月7日（木）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

6. 申込み先：東武トップツアーズ㈱

MAIL tobutop@zenken.com

申込みのお問合せ 全建担当 田中

TEL 050-9014-8593 FAX 03-6908-8043

7. 送金先：三井住友銀行 首都圏支店 普通 1158116

トウブトップツアーズ（カ）トウキョウホウジンチュウオウジギョウ

研修料の振込みは、選考結果の通知後～原則 開催前日までにご利用します。

※振込手数料はご負担願います。

8. **変更・取消し**：申込みの変更又は取消しが生じた場合、申込用紙に変更箇所がわかるように記入し、メール件名に「変更」又は「取消」と明記し、6. の申込み先宛にメールで送付してください。なお、取消しの場合には、取消し日に応じて下記の取消料が発生します。
※電話での受付はできません。

【取消料（宿泊代金を除く）】

取消し日	取消し料
20日前～8日前	研修料の 20%
7日前 ～前々日	研修料の 30%
前日	研修料の 40%
当日	研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の 100%

- ・取消し等に伴う返金について
開催終了後に所属協会等の指定口座へ、取消し料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。
なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消しの場合は、取消し日に関わらず全額（振込手数料は本協会負担）をご返金いたします。

【取消料（宿泊代金）】

取消し日	取消し料
30日前～7日前	宿泊代金の 10%
6日前 ～3日前	宿泊代金の 50%
2日前	宿泊代金の 80%
前日～	宿泊代金の 100%

9. **研修同行員**：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と東武トップツアーズ(株) 1名が同行します。

10. **その他**：

- ・ルームキーは聴講の終了後、聴講会場にてお渡しいたします。
- ・視察資料は当日、参加証は終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
- ・事故防止のため自家用車での参加はご遠慮ください。
- ・講習会情報については全建ホームページ (<https://www.zenken.com/>) もご覧ください。

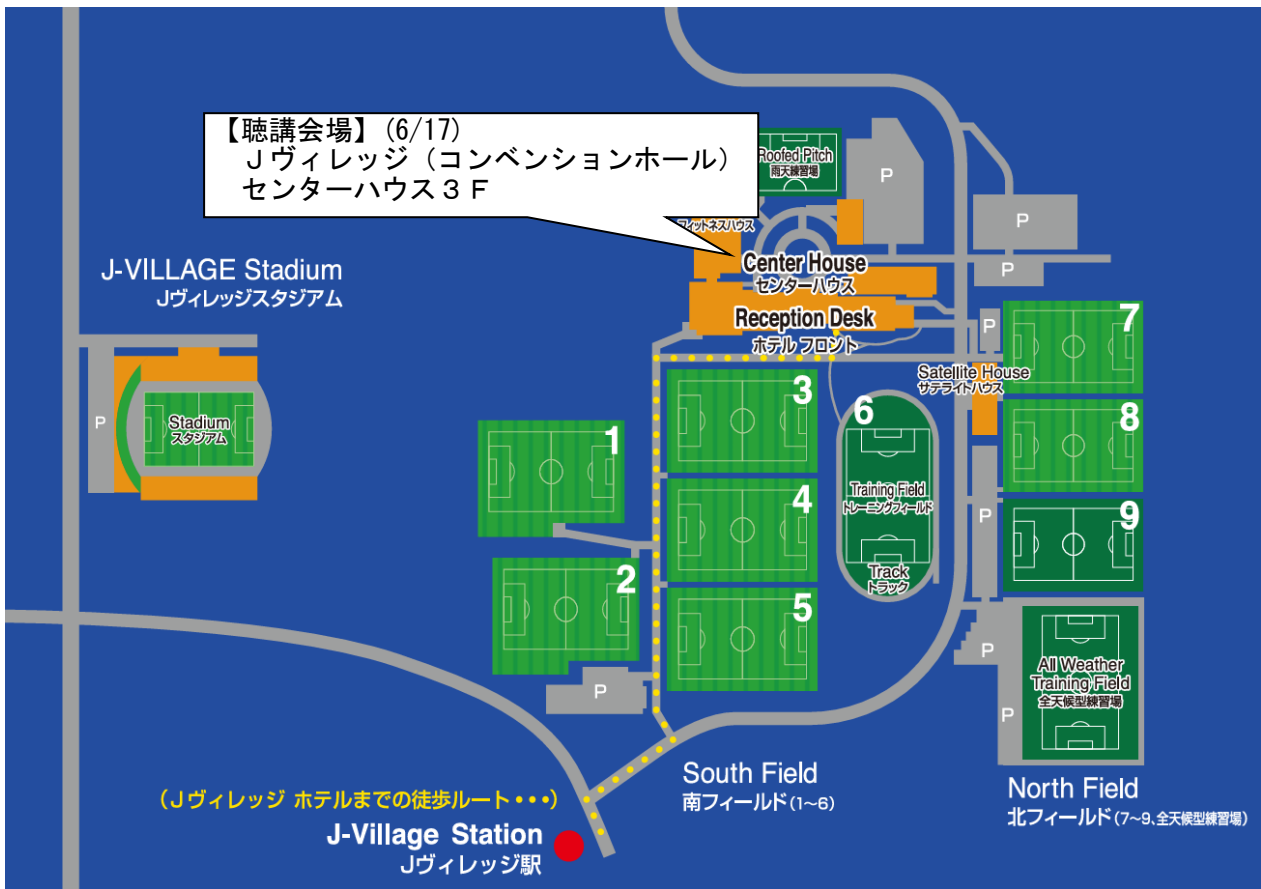
11. **視察研修企画**：（一社）全日本建設技術協会

東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル
視察研修のお問合せ 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640
MAIL kensyu@zenken.com

12. **ご相談窓口**：東武トップツアーズ株式会社東京法人中央事業部

東京都港区港南1-8-15 Wビル18階
TEL 050-9014-8593
FAX 03-6908-8043
MAIL zenken-desk@tobutoptours.co.jp
登録番号：T4013201004021
観光庁長官登録旅行業第38号 （一社）日本旅行業協会正会員

聴講会場及び現場研修集合場所案内図



Jヴィレッジ(コンベンションホール)

〒979-0513 福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森 8 TEL:0240-26-0111

JR常磐線利用

東京駅 - Jヴィレッジ駅間

約2時間45分 ※途中乗り換えあり

仙台駅 - Jヴィレッジ駅間

約2時間30分 ※途中乗り換えあり

JR常磐線Jヴィレッジ駅より徒歩5分

令和8年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）に参加の皆様へ
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



本協会が実施する建設技術講習会・実地研修会には、全国から多くの皆様にご参加いただいております。

本交流会は、参加者同士の交流や講師との意見交換を通じて、知見と人脈を広げ、今後の業務に活かしていただくことを目的として開催するものです。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和8年6月17日（水）17：00～18：30

場所：Jヴィレッジ内

会費：2,000円（聴講の受付時にお支払いください）

<注意事項>

- ・都合により中止または内容を変更する場合があります。
- ・参加人数により中止となる場合があります。
- ・講師の参加は追加・取消等の変更が生じる場合があります。
- ・開催時間は当日変更となる場合があります。
- ・参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入してください。
- ・参加者は名刺をご持参ください。
- ・服装は自由です。



1. 参加者同士の交流促進

- ・名刺交換による人脈形成
- ・意見交換
- ・情報共有

2. 講師との交流・意見交換

- ・講師との懇談
- ・質疑応答

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com